

② 生産基盤

プロジェクト

県土を守る森林環境の保全

目 標

- ・ 治山事業新規着手地区 R1～R5:25地区 → R6～R10:25地区
- ・ 松くい虫・ナラ枯れ被害 被害の拡大防止

挑戦する内容

- ・ 山地災害危険地区における計画的な治山施設整備の推進
- ・ 流域治水と連携した森林整備・治山対策の実施
- ・ 山地災害危険地区の点検の実施及び点検結果に基づく施設の長寿命化
- ・ 事前防災（監視体制強化・危険地区情報の地域住民への提供等）による減災対策の推進
- ・ 松くい虫・ナラ枯れ被害の拡大防止対策の強化

関係者の声
＝対話

- ・ 山地災害が激甚化・頻発化しているため、山地災害危険地区の整備を早急に進めてほしい（地域住民）
- ・ 治山施設は設置されているものの、設置から年数が経過しており、心配（地域住民）
- ・ 松くい虫やナラ枯れ被害の拡大を防いでほしい（地域住民）

役割分担

- ・ 森林所有者、森林組合、林業事業体：被害等の情報提供
- ・ 県、市町村：治山事業や森林病虫害対策等の実施、普及啓発

変革後の姿

- ・ 治山事業等の山地災害対策や松くい虫・ナラ枯れ被害対策などの森林の保全管理を適切に実施することで、県民の豊かな暮らしと貴重な自然環境の継承を実現

令和8年度計画

挑戦する内容

- 1 山地災害危険地区における計画的な治山施設整備の推進
 - ・ 地元からの要望内容や被災の危険度、保全対象の重要度などを踏まえた計画的な治山施設の整備（17地区）
- 2 流域治水と連携した森林整備・治山対策の実施
 - ・ 流域治水協議会への参画（1級河川3流域）
- 3 山地災害危険地区の点検の実施及び点検結果に基づく施設の長寿命化
 - ・ 山地災害危険地区の点検
 - ・ 機能強化、老朽化対策事業の実施
- 4 事前防災（監視体制強化、危険地区情報の地域住民への提供等）による減災対策の推進
 - ・ 県ホームページにおける情報提供 ・ 山地防災ヘルパーを活用した防災情報の早期把握
 - ・ 山地災害防止キャンペーン等による防災意識の醸成
- 5 松くい虫・ナラ枯れ被害の拡大防止対策の強化
 - ・ 上空探査及び地上目視調査の実施
 - ・ 被害木の伐倒・くん蒸等、誘引捕殺の実施
 - ・ 松くい虫被害対策における薬剤散布の実施（51ha）
 - ・ ナラ枯れ被害対策における更新伐への補助の実施（50ha）
 - ・ 「守るべきナラ林」の被害予防対策の補助の実施

対話

- ・ 部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（7月、1月）
- ・ 市町村と連携し、山地災害箇所の早期把握と災害の予防・減災事業を検討（随時）
- ・ 松くい虫・ナラ枯れ被害に関する国や研究機関、市町村、森林組合などによる検討会・協議会を開催し、寄せられた意見・課題等を参考に対策に反映（年3回）



計画的な治山事業の整備
（溪間工・山腹工）



ナラ枯れ及び松くい虫被害木（深浦町）